

あなたが変われば エイズのイメージが変わる。UPDATE HIV!

(2023年世界エイズデーキャンペーンテーマ)



12月1日は世界エイズデーです。

治療の進歩に支えられ、エイズの流行を取り巻く状況は大きく変化しています。

HIV(エイズの原因ウイルス)に感染しても、早期に発見し治療を継続することで、これまでと変わらない生活を続けられ、他の人への感染も防げます。

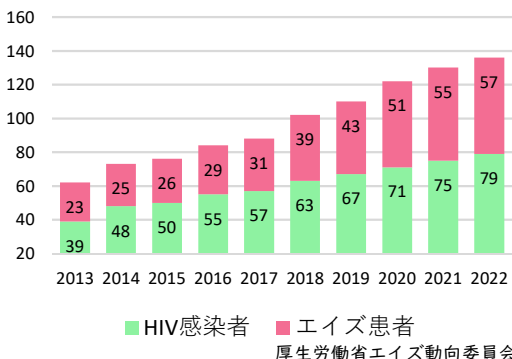
ただ、このような事実は必ずしも多くの方に知っていただけているとはいえない状況です。

今年度の世界エイズデーをきっかけに、かつて広がった偏見や差別の意識をUPDATE(更新)していただければ幸いです。

レッドリボンは、あなたが「エイズに偏見を持っていない」「エイズと共に生きる人々を差別しない」というメッセージを込めた、理解と支援を表すシンボルです。

大分県のHIV感染者/エイズ患者の状況

大分県のHIV感染者/エイズ患者数の累計報告数



全国と比較して、エイズ患者で報告される割合が高く、自分がHIVに感染していることを知らずにエイズを発症している人が多いことが危惧されます。

▶ HIVに感染したかも知れないと不安のある方は早めの検査を強くお勧めします。

HIV(エイズ)検査は大分県内の保健所でも行っています。

保健所のHIV検査は無料・匿名・予約制です。プライバシーに配慮しており、結果は本人にのみお伝えします。感染機会から3か月経過すると正しい検査結果が得られます。

不安なときは、一人で悩まず相談を



【問い合わせ先】 大分県福祉保健部感染症対策課

TEL:097-506-2816

FAX:097-506-1730

大分オレンジカンパニー(認知症にやさしい企業・団体)登録制度について

大分県は日常生活を続ける上で欠かせない生活関連企業等の方にも認知症サポーター(※)となってもらい、認知症の人とその家族が「安心して暮らせる地域づくり」を推進しています。

(※)認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする人のこと。各市町村等で開催される認知症サポーター養成講座(認サポ講座)を受講することが必要。

大分オレンジカンパニー(認知症企業サポーター)とは

1 概要

企業・職域組織単位で認サポ講座を受講した事業所を「大分オレンジカンパニー」に登録のうえ、交付した「オレンジステッカー」を店舗や事務所等に掲示することで、県民に認知症サポーターの存在や活動を普及啓発する。

2 登録対象

- 企業・団体(金融機関、スーパー、コンビニ、薬局 等)
- 公共サービス関連(郵便局、警察、消防 等)
- 公共交通機関 等

※介護サービス事業所、病院、一般診療所は除く

3 登録要件

概ね半数以上が認サポ講座を受講していること

※全員の受講が望ましい。

【問い合わせ先】 大分県高齢者福祉課 TEL 097-506-2695

企業・団体のメリット

- 認知症の方にやさしく対応できる企業(店舗や事務所)であることをアピールできる。
- CSR(社会的責任)の側面から企業のイメージアップにつながる。
- 社員教育等で認知症を学ぶきっかけとなる。
- 介護と仕事が両立できる「社内風土」を考えるきっかけとなる。 など

オレンジステッカー



認知症サポーターカード



県内479団体登録
(令和5年10月末現在)